

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

# みんなで作る未来型図書館 ニュースレター vol.8

未来型図書館の立地場所が「芦城公園周辺」に決定しました。  
今後は、公会堂や博物館などと一体的な整備をめざし、対話と活動のプラットフォーム「こまつリビングラボ」を新たに立ち上げ、市民のみなさんと共に未来型図書館の実現に向けて取り組んでいきます。

## 令和5年度の取組み

令和4年度に策定した「未来型図書館基本構想」をベースに、今年度は芦城公園周辺エリア内の具体的な立地場所の検討や経年による老朽化や機能・用途のあり方が課題とされてきた公会堂や博物館、市立図書館を中心とした公共施設の集約・再編や機能の見直し、未来型図書館のビジョン・コンセプトを実現する機能、官民連携事業による事業の可能性等、様々な事業課題について調査・検討を進めていきます。また、昨年度の市民ワークショップを発展させた「こまつリビングラボ」を通じて機能やサービス等の具現化などを行いながら、皆さんと楽しく未来型図書館づくりを進めていきます。

リビングラボの  
第1回参加者募集中！  
詳しくは市HPをチェック！



## 子ども司書クラブ

CHECK 第2期受講生は7月まで募集中！  
詳しくは市HPをご覧ください！

昨年12月に子ども司書養成講座を修了したメンバーで結成した「こまつ子ども司書クラブ」。毎月1回13名で元気に活動しています！5月には空とこども絵本館にて子ども司書による読み聞かせ会を開催し、子どもから大人までたくさんの方にご参加いただきました。これからも図書館づくりを盛り上げていきます！



図書館エディター

## 「こまつオルフ's」

CHECK

第2期受講生は7月まで募集中！  
詳しくは市HPをご覧ください！

昨年度の第1期図書館エディター養成講座を修了した受講生で図書館エディター「こまつオルフ's」を結成。〈オルフ〉というのは小松の方言で〈いるよ〉という意味。未来型図書館が誰もがいても良い場所、大切な仲間と一緒に過ごしたい場所などの願いが込められています。現在は企画会議を開催し今後の活動計画などについて検討しています。



みんなで作る未来型図書館

## リレーエッセイ

### 第8回目は太田 剛さんです！

慶應義塾大学講師／編集工学機動隊GEAR（株式会社ギア）代表／  
図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター

一昨年の小松市「未来型図書館を考える講演会」から約1年半がたちました。その間に、未来型図書館づくりに欠かせない人材育成の場として「図書館エディター養成講座」の講師をつとめさせていただき、6か月かけて第1期の方が修了し、小松市の図書館を支える「こまつオルフ's」という名前も決まりました。

思い起こせば、小松市に新しい図書館をつくりたいという有志の皆さんにお招きいただき、小さな勉強会でお話しさせていただいてから3年半になりますね。約2年前に宮橋市長が新しく就任し、熱心に旗を振られて、「わくわくする未来型図書館の建設」が具体化していく様子を頼もしく見守っています。ただ、図書館づくりは、これからが本番ですね。私が事務局長をつとめた活字文化議員連盟「公共図書館Pt」で2019年に出した答申を具体化すべくまとめた要望書に基づき、6月15日に活字文化議員連盟と学校図書館議員連盟の合同総会で審議され、その内容が決議されました。（<https://www.mojikatsuji.or.jp/news/2023/06/16/6772/>）

これから、日本中の公共図書館と学校図書館の改革が動き出します。その流れの中で、小松市に新しい図書館が芽吹く事を楽しみにしながら、それを育てるための第2期「図書館エディター養成講座」での人材育成のお手伝いをさせていただきます。



太田 剛 さん

## お知らせ

### 未来型図書館noteができました！

メディアプラットフォーム「note」を活用し、様々なコラムを通して未来型図書館づくりについてお届けしていきます。

note

Instagram

市HP

